

お知らせ

令和 7 年 5 月 22 日

社会医療法人厚生会 中部脳リハビリテーション病院

病院長 篠田 淳

中部脳リハビリテーション病院では下記の要領で臨床研究を予定しています。

研究題名 重症頭部外傷後遷延性意識障害に関する脳磁図・MRI を用いた脳活動解析

目的 頭部外傷後遷延性意識障害症例の脳活動状態を解析し、脳磁図・MRI を用い意識障害の病態解析や意識障害脱却例の特徴を検索する。

対象 2016 年 4 月 1 日から 2025 年 4 月 30 日に旧木沢記念病院、中部脳リハビリテーション病院・中部療護センターにて脳磁図・頭部 MRI 検査を受けられた、重症頭部外傷後遷延性意識障害またはその罹患歴のある患者の皆様。

方法 後方視的研究として行う。当該期間に意識障害または症候性てんかん(疑い)のため計測した脳磁図データより脳活動解析を行う。他方、MRI 検査データより安静時脳機能的結合や神経線維の解剖学的結合状態を計測する。これらの結果から、臨床症状／経過に応じた所見の特定に務める。

各症例の付帯情報として、器質的病変については、同時期に撮影した他の MRI 構造画像または CT 所見を、機能的所見については他の電気生理学的検査(ABR, SEP, VEP, MEP)や核医学検査(糖代謝／脳血流 PET、脳血流 SPECT)の結果を参照する可能性がある。

人権擁護 ヘルシンキ宣言に従い、被験者のプライバシーを尊重し、画像データは連結不可能匿名化の上保存し、被験者が特定できないように特別の配慮を行う。

研究代表者 池亀 由香 (中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター)

中部脳リハビリテーション病院では患者より得られた検査データを研究に使用することがある旨、院内に掲示しています。院内に保管してあるこれらの患者データを使用する研究を行う場合には、その都度、具体的な研究の概略を示し改めて研究に関わる患者データ使用に関するお知らせを行うことにしています。本研究(上記)では 2016 年 4 月 1 日から 2025 年 4 月 30 日の間に旧木沢記念病院、中部脳リハビリテーション病院・中部療護センターで施行された、重症頭部外傷後遷延性意識障害患者の方々の脳磁図・脳波・MRI/CT・電気生理学的検査・核医学検査のデータを使用いたします。

この件につきまして疑義がございましたら下記までお申し出ください。

社会医療法人厚生会 中部脳リハビリテーション病院

事務長 坂下 重吾